2015 年度 環境活動レポート

対象期間 2014年9月~2015年8月

2015年10月21日

昭和ネームプレート株式会社

環境方針

昭和ネームプレート株式会社は、事業活動において

- ① 地球環境の保全が人類共通の最重要課題であること
- ②地域社会の環境保全が地域の発展及び共存の上で重要であることを認識
- し、可能な限りの範囲で目標を定め、省資源、省エネルギー、

リサイクルを推進し、環境負荷に配慮した活動を実行します。

それらをふまえ下記に環境方針を定め継続的に改善します。

- 1. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
- 2. 電気・ガソリン・ガス等のエネルギーの削減
- 3. 水資源の節水
- 4. 化学物質を正しく使用し管理する
- 5. 環境関連法規制等の遵守
- 6. グリーン購入の実施
- 7. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

2014 年 10 月 21 日 昭和ネームプレート株式会社 代表取纬役 瀬田 昭男

事業活動の概要

| (1) | 会社名 | 昭和ネームプレート株式会社 |
|------|---------|---|
| (2) | 代表者 | 代表取締役社長 瀬田昭男 |
| (3) | 設 立 | 1957年(昭和 32)4月 29日 |
| (4) | 資本金 | 1,000 万円 |
| (5) | 事業内容 | ネームプレート・パネル・ラベルの製造及び販売 |
| (6) | 事業規模 | 年間売上 約 485 百万円 (2015 年度実績) 従業員 36 名 |
| (7) | 本社所在地 | 東京都荒川区荒川 6-52-10 TEL 03-3892-4221 (代) FAX 03-3892-4222 |
| (8) | 審査対象工場 | 昭和ネームプレート株式会社 埼玉工場 埼玉県越谷市蒲生 3882-1 TEL 048-988-7611 (代) FAX 048-986-6261 E-mail <u>kamiya@showa-np.com</u> |
| (9) | 工場規模 | 延面積 約 1,089 ㎡ |
| (10) | 環境管理責任者 | 代表者 代表取締役社長 瀬田昭男 |

管理責任者 管理部部長 神谷丈夫

環境目標とその実績

| | | | 2015 年度 実績 | 20 20 |)13 年度 12.9 ~ 13.8 実績) BM | 2015 年度 2014.9 ~ 2015.8 (目標) | 2016 年度 2015.9 ~ 2016.8 (目標) | 2017 年度 2016.9 ~ 2017.8 (目標) | |
|-------------|--------------------|----------------|----------------|----------------|------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| | 電力の削 減 | 総量 (kWh /年) | 106914 | | | 111164.34 (2%) | 110030.01 (3%) | 109462.84 (3.5%) | |
| 二酸化炭素排出量 | ガスの削 減 | 総量(m³/ 年) | 44.6 | 67.1 | | 65.8 (2%) | 65.1 (3%) | 64.75 (3.5%) | |
| | ガソリン の削減 | 総量 (Q/ 年) | 10047.69 | 11251.58 | | 11026.55 (2%) | 10914.03 (3%) | 10857.77 (3.5%) | |
| 171 PS | CO2の削減 (上記の合計) | 総量(t / 年) | 74.994 | 80.998 | | 79.379 (2%) | 78.569(3%) | 78.163 (3.5%) | |
| 節水 | 総排水量 削減 | 総量 (m³/年) | 546 | 2014年度実績 631 | | 625 (1%) | 618(2%) | 612 (3%) | |
| | 一般廃棄 物削減 | 総量 (kg/年) | 874.2 | 2012年度実績 585.6 | | 579.8 (1%) | 865.5 (1%) | 861.1 (1.5%) | |
| 廃棄物量 の削減 | 産業廃棄 物の削減 | 総量 (kg/年) | 5652.1 | 4045.1 | | 4004.6 (1%) | 5595.6 (1%) | 5567.3 (1.5%) | |
| √2 GJ 1990 | 段ボール の再利用 | 再利用率 (kg/年) | リサイクル率 100% | リサイクル率 100% | | リサイクル 率 100% | リサイクル 率 100% | リサイクル 率 100% | |
| グリーン | 事務用品等の購入 | | | | 現状購入品については少量であるが、長期にかけて | | | | |
| 調達の推進 | | | | | 100%を目指す。 | | | | |
| 製品への | ①販売時の包装の簡易化 (品証) | | | | 各部の目標に向け、活動に繋げる。 | | | | |
| 環境配慮 | ②負荷の少ない工法 (製造) | | | | 長期的に数値化出来る様活動する。 | | | | |
| | ③環境に配慮した原材料の購入(管理) | | | | | | | | |
| | ④顧客へのアピール(管理) | | | | | | | | |

(電力:日本テクノ(株)2013 年度実排出係数 0.482 (kg-CO2/kwh) の換算値を使用。)

- 1 CO2 の削減は目標を達成したが、今期も中期目標である、当初の3ヶ年目標の3年目の目標数値を目指し2013年度実績(BM)から-3%の目標にする。ガスは業務上で使用する事が少ない為、2016年度の環境目標からは外すが使用量は記録しCO2に換算する。
- 2 一般廃棄物は3年連続未達成だった為、BM を見直し2014年9月から2015年8月(2015年度)の実績を基にBM を再設定した。産業廃棄物は2年連続未達成だった為、2014年9月から2015年8月(2015年度)実績を基にBM を再設定した。一般及び産業廃棄物は目標数値を修正し直した。2016年度からプレス工場の合併に伴い廃棄物は増える事が予想される。
- 3 水道は2ヶ月に1回の測定 前期は、水道管(ϕ 数)及びメーター交換により数値に大きな変動が見られた。その 為、新たに 2014 年度実績 (BM) にし目標を達成したが使用量の推移を監視する為、2014 年度実績 (BM) を基に 3ヶ年目標 2年目の目標数値-2%の目標にする。
- 4 2017年度が終了した時点で中期目標の見直しをする。
- 5 この他に次のことに取り組みます。
- ・化学物質を正しく使用し管理(棚卸し等)削減にむけて活動する。

環境目標・活動計画と評価

対象期間(2014年9月~2015年8月)までの目標とその実績についての計画と評価

| | 取り組み項目 | | 達成状況 | | 評 価(結果と今後の方向) | | | |
|------------------|---------------------|----------------------------|------------|--------------------------|------------------------|--|--|--|
| 二酸化炭 | 電力・ガス・ガソリン等の削減 | В. М И | こ対し-7.4% | 目標 | 目標数値に対しては達成した。ガス、ガ | | | |
| 素排出量 | | 達成 | | ソリンの削減率が大きかった。ガス使用 | | | | |
| の削減 | | 2%目標に対し | | 量は少ない為、来季から環境目標から外 | | | | |
| | | | | すが使用量は記録し CO2 に換算する。ガ | | | | |
| | | 達成率 106% | | ソリンでは社用車が1台入替えにより燃 | | | | |
| | | | | 費の向上に繋がった。CO2の削減は厳し | | | | |
| | | | | | っており出来る限り増えないように | | | |
| | | | | 活動内容を見守る。 | | | | |
| 節水 | 総排水量の削減 | 威 B.M に対し-13.5% | | 目標数値に対し達成となった。前期、水道管(φ数) | | | | |
| | | 達成 | | 及びメ | ーター交換をした事が影響した為と思われ | | | |
| | | 1%目標に対し | | 再度数値を見直し更に、元栓を約 2 割程度絞って | | | | |
| | | 達成率 114% | | おりその効果が出たと思われる。 | | | | |
| 一廃棄物 | 一般廃棄物の削減 | B. M (| こ対し+49.3% | 3年連続の未達成だった。品証部内の廃棄物が多か | | | | |
| 量の削減 | | 未達成 | | った様だが BM そのものが東日本震災後に仕事量 | | | | |
| | | 1%目標に対し | | が減少した時の数値になっており仕方ない部分で | | | | |
| | | 達成率 | 66% | ある。 | 今期は新たに BM を再設定し様子を見守る。 | | | |
| | 産業廃棄物の削減 | B. M (3 | 対し+39.7% | 2 年達 | 車続の未達だった。一般と同様に | | | |
| | | 未達原 | | BM | が震災後の数値の為、削減が厳し | | | |
| | | 1%目 | 標に対し | くな | っている。今期は BM を再設定 | | | |
| | | 達成率 72% | | した。仕事量に影響されやすいが一 | | | | |
| | | | | 般、産廃のほとんどを RPF として再 | | | | |
| | | | | 利用 | しており廃棄処分はしていない。 | | | |
| | | | | | | | | |
| 化学物質 | 使用化学物質の種類を把 | 社内にあるインクや溶剤 | | 棚卸し等の管理を行い、今迄以上の管理 | | | | |
| の使用と | 握し正しく管理する。 | 等の使用状況・保管量を | | が出来た。今期も有機溶剤を安全に、正 | | | | |
| 管理 | | 把握する。 | | しく使用していく。 | | | | |
| グリーン調達 | 事務用品等の購入 | 少量ではあるが目標に対し | | | | | | |
| の推進 | | タ重ではめるが日保に対し 活動した。 | | | | | | |
| 製品への | ①販売時の包装の簡易化(品証) | 11 新じた。 (1) 各部内で検討と社タ | | からの ①各部の目標に向け活動に | | | | |
| 環境配慮 | ②負荷の少ない工法(製造) | 情報提供依頼 | | 繋げる。 | | | | |
| ③環境に配慮した原材料の購入(管 | | | | ②長期的には数値化出来る | | | | |
| 顧客へのアピール(管理) | | | | | 様活動する。 | | | |
| | | | l . | | | | | |

(総評)EA21の取り組みも長くなり各目標に対して削減が厳しくなっているようである。今後は何かテーマや目的をもって削減活動をすると成果が出やすいかもしれない。たとえば、不良を減らす、余剰在庫を作らない、ペーパーレス化また、ISO9001 と連携した活動することも必要な時期に来ていると思われる。その結果としてコスト的な成果も期待できる。また、今期はレイクタウン工場も加わりEA21の取り組みも必要になり、BMの設定や従業員教育など早急に実施しなければならない。大震災から数年たち緊急時への危機意識が全体に薄れている感じが見受けられる。この機会に是非、緊急時を想定した環境整備について再考したい。

環境関連法の遵守状況

環境関連法規等にのっとり、遵守しています。

「埼玉工場に適用とする環境関連法規一覧表」を基にその遵守状況を評価した結果、遵守していることを確認した。また、過去 5 年間にわたって違反や訴訟は 1 件も発生していません。

昭和ネームプレート株式会社埼玉工場 代表取締役社長 瀬田昭男 管理責任者 神谷丈夫 2015.10.21